

巻頭言



第132号

2024年3月22日

発行者

石川工業高等専門学校  
図書館

〒929-0392

石川県河北郡津幡町  
北中条

TEL: 076-288-8015  
FAX: 076-288-4130

e-mail: tosyo@ishikawa-nct.ac.jp

https://www.ishikawa-nct.ac.jp/tosyo/

巻頭言

佐野 陽之

この一年、図書館についてたくさんのことを考えることになったが、これは私の人生で初めてのことである。昔から図書館は私にとって比較的身近な存在で、学生時代は時間を持って余すと良く大学図書館にいつて、ぶらぶらと時間を過ごした。働くようになってからは、主に文献調査で利用した。また、ここ10年くらいは、休日に自宅近くの市立図書館に行つて、小説やエッセイなどを借りたりしている。そう、これまでは、あくまで一利用者として図書館に通つていただけである。そんな自分が、今年度石川高専の図書館長となり、今までとは全く違った観点から図書館に関わるようになった。

【地下書庫のカビ問題】本校の図書館で最も大きい所蔵スペースである地下書庫には、空調システムが無いため、夏場の高温多湿環境においてカビが発生しやすい。書籍を長期間保管するためには人が快適に過ごすのと同じ環境が必要であることが、改めて分かった。当面は、除湿器の運用と書籍間の隙間を大きくとつて風通しをよくすることで対処していくことになりそうである。

【大規模除籍作業】図書館改修計画を進めるにあたり、蔵書を大幅に削減する必要がある。今年度は図書館創立以降における最大規模の除籍作業を行った。本を購入するのは楽しいが、捨てるのは切なくて何とも言えない罪悪感を伴うものである。それでも多くの教員の協力によってほぼ予定通り除籍書籍の選定を行うことができた。その後、図書事務の方々による除籍・廃棄作業が続いているが、数万冊という物量の巨大さは手強く、この作業は来年度も続いている。

図書館長として経験した楽しい出来事についても書こう。一番は、石川県立図書館への見学・ブックハンアウトである。建築物としてのデザインや機能が素晴らしく、また書籍の分類や見せ方に工夫があるため、ついに本を手にとって見てしまうのである。参加学生は大いに満足しており、自身「ここに住みたい！」と感ずるほど楽しい時間を過ごせた。また、ここと同じものを本校で用意することはできないが、各図書館はそれぞれの機能と役割を持っているはずなので、本校の身の丈と個性に合った図書館環境を作っていくことが大切であると感ずった。

もう一つ面白かったことは、学生の文芸コンクールの審査である。い

わゆる読書感想文を一度に大量に読んだのは新鮮な体験だった。読書の素晴らしさは、一種の疑似体験を通して私たちが感じ・考えることであるということが実感でき、図書館のイベントとして長く続いてきた文芸コンクールが学生の感性を磨くことにつながっていると感ずった。

ほぼ毎週一回、図書事務に行つて図書館に関する様々な打ち合わせをすることが、私の日常になっている。その際、学生が図書館の机で静かに勉強している様子を見るのが好きである。この知的で静謐な環境を維持し、少しずつでも良くしていきたいと静かに思う一年であった。



賞	学科	氏名	標題
最優秀	2E	中田	明日にはまだ失敗がない それだけで生きる価値がある
	3I	白方	被害者意識が生む差別
優秀	2E	気谷	あなたの燃える左手で
	1M	本川	昆虫の惑星 虫たちは今日も地球を回す アンヌ・スヴェルトルップ＝ティエゲソン
	1A	河原	いつか
	1A	川畑	「武道館」を読んで
佳作	3I	毛利	「君たちはどう生きるか」を読んで
	3C	池田	空気を読んでも従わない
	3A	門田	成長と自己探求
	2M	前田	アンネの日記から現代の私たちに
	2I	田中	誹謗中傷を無くすには
	2I	中西	芥川龍之介「鼻」を読んで
	1C	松島	接ぎ合わされた先にあるもの
	1C	宮下	親切な行いは巡り巡って自分に還ってくる「悪因悪果」
1A	細川	機械と人間が共存するためには	

※敬称略、各賞の中はクラス順・氏名の五十音順です。



文芸コンクール表彰式 2024年2月2日

図書館主催令和5年度(第40回)文芸コンクールでは、全48編の応募があり、その中から18編が入賞しました。

## 文芸コンクール

## 学科推薦図書・雑誌

毎年、各学科の先生方から学生のみなさんに読んでもらいたい本を推薦してもらい、図書館に配架しています。図書だけでなく、授業や研究に欠かせない学術雑誌もあります。今回はその中の一部を紹介して頂きました。

### 機械工学科

#### ① スポーツを変えたテクノロジー

近年のスポーツパフォーマンスの向上には道具が大きく影響しています。その道具を作るのはエンジニアです。本書には、スポーツ道具の歴史や道具の影響が分かり易く書かれています。複雑な式などはなく、大変読みやすく、理解し易くなっています。スポーツに興味がある学生さんにはぜひ一度読んでみてください。



### 電気工学科

#### ② はじめてのパワーエレクトロニクス

電気の基本的なところから丁寧に解説されており、「一度は習った気がするけど自信がない」などの初級エンジニアにおすすめの1冊。数式を少なくし図を用いた説明が多いため、読みやすい1冊かと思えます。



#### ③ EE Text パワーエレクトロニクス

電気学会との協同出版で書かれた「EE」シリーズで電気・電子系学科に属する大学学部2〜3年生向けのパワーエレクトロニクスの教科書です。「より詳しくパワーエレクトロニクスを学びたい」、「制御手法、解析技術が知りたい」などの声に、実際の応用機器やシステムを交えて詳しく解説しており、演習問題も充実している1冊です。



### 電子情報工学科

#### ④ 定本解析概論 ⑤ 代数学講義

いずれも、高名な数学者であられる高木先生の名著を新たな版として改訂した書籍です。1875年(明治8年)のお生まれで、1960年(昭和35年)に84歳でお亡くなりになった高木先生の書籍を新しい版として読みたいという方が多くおられ、出版に至っています。若い学生さんにも、ぜひ図書館で手に取っていただけたら、と感じております。



#### ⑥ スッキリわかるPython入門

私も専門としている深層学習(いわゆるAI)では、主にPythonというプログラミング言語を利用します。こちらの書籍ではカラーでわかりやすく記載されていますので、低学年の学生さんや、情報以外の学生さんにとっても読みやすい書籍となっています。是非こちらの書籍を読んでPythonを身に着け、AIに興味を

学科推薦図書

持つてもらえると嬉しく思います。



環境都市工学科

⑦ ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けて

環境白書、循環型社会白書、生物多様性白書の3つの白書は、法律に則ってそれぞれ国会に提出する年次報告書ですが、環境問題の全体像を分かりやすく示すために3つの白書を合わせて編集し、1つの白書としてまとめられた図書です。

テーマは「ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けて」です。2030年までを「勝負の10年」として、国内外で「脱炭素ドミノ」を起こしていくために私たち一人ひとりが、未来に影響を与える当事者であるという意識を持って行動し、炭素中立（ネットゼロ）、循環経済、自然再興（ネイチャーポジティブ）の同時達成を実現すること、環境・経済・社会の統合的向

上につなげる内容となっています。



建築学科

本年度の推薦図書の中から「図解」

「図鑑」「画文」の3冊を紹介する。3冊が「図化」しているのは建物外観ではなく、断面形状や建物の造り、歴史上の思想やその関係性である。

⑧ 図解建築の技術と意匠の歴史

実際の建物は、どんな材料を、どう加工し、どうやって組み上げて荷重を支えるのか、耐用年数を延ばすにはどうしたらよいか、といった創意工夫の結果である。本書では、古代までさかのぼり、空間創造の手がかりや技術の変遷を、約3000点の3D図版などを用いてわかりやすく解説してくれている。



⑨ 建築思想図鑑

「建築思想を理解すれば、つくる建築、語る言葉の説得力が増す。」本書は、知るため、理解を深めるため、というよりも、つくる、かたる言葉の説得力を高めることが意識されている。建築思想63項目の基本を、イラストと解説で理解できる入門書となっている。難解そうな言葉も、まずはイラストを眺め、なんとなくのイメージがつかめる。



⑩ 画文でわかる建築超入門

「画文でわかる」シリーズ第2弾！文系出身の著者が、建築を自ら楽しめるようになるための早道とし、なんと「4日間で建築が好きになる建築超入門」という。まあ4日なら挑戦できるんじゃないだろうか。ちなみにシリーズ第1弾「モダニズム建築とは何か」も図書館にあります。さて効率よく試験成績に有効な勉強も大切だけど、そうやって詰め込んだことを忘れても、心に残っている

て無くならない専門的な感覚のなかに、その道の楽しさがあるのだと思います。というわけで、本をパラパラめくってみても、いいんじゃないだろうか。



一般教育科

⑪ ストレス脳

「ストレス」この言葉を聞くと、皆さんは何を思い浮かべますか？「うつ」は、どうでしょう？本書は、脳が持つ防御本能やそのメカニズム、ストレスを感じるこの意味等について、わかりやすく論じたものです。『スマホ脳』『最強脳』に続く著者の精神科医としての20年にも及ぶ、経験とその蓄積による目からウロコの本です。



	書名・誌名	請求記号	資料番号
①	スポーツを変えたテクノロジー	780.67  H11	1023005225
②	はじめてのパワーエレクトロニクス	549.8  Mo55	1023005805
③	EE Text パワーエレクトロニクス	549.8  Mo55	1023006055
④	定本解析概論	413  Ta29	1023002644
⑤	代数学講義	411  Ta29	1023002682
⑥	スッキリわかるPython入門	549.92  64  pyt	1023003542
⑦	令和5年度<環境白書> ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けて	519.1  Ka56  2023	1023001166
⑧	図解建築の技術と意匠の歴史	520.2  Mi93	1023003092
⑨	建築思想図鑑	520.1  Ma74	1023003153
⑩	画文でわかる建築超入門	523.07  Mi89	1023005676
⑪	ストレス脳	491.371  H29	1023005393

※図書は準新着図書コーナー、⑦は白書・統計コーナーにあります。

## 図書館活動報告

### ●ブックハント

今年度のブックハントは、石川県立図書館の見学を兼ねた回とオンラインと、2回開催しました。のべ20名の学生が参加し、60冊の本を購入しました。このうち、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった他図書館の見学を兼ねたブックハントでは、2022年7月にリニューアルした石川県立図書館を訪問することができました。

参加者らは、本を探すだけでなく空間や建物にも魅力を感じ楽しんでいました。



### ●雑誌の付録配布会

約1年分の雑誌の付録を配布する付録配布会。

今年度は震災の影響もあり、開催時期をずらして2月13日～2月16日までの間で開催しましたが、相変わらず好評で、付録は1日目ではほとんど

なくなっていました。

### ●図書館閲覧室について

震災の影響で大量の本が落下し、年明けから復旧作業に追われました。早くから図書館の状況を気にかけてくださった学内の先生や他の図書館の方から復旧のご支援をいただき、無事復旧することができました。資料を棚の低い位置に並べ直したので、少し雰囲気は変わりましたが、以前より本が取りやすく、利用しやすくなったと思います。

### 休館等にご

協力くださった利用者の皆様、復旧支援に駆けつけてくださった皆様に感謝申し上げます。

